

寅年

2022

年男・年女インタビュー!



寅年

昭和25年
生まれ

高倉 君枝さん
(前田)

あつという間に金婚式を迎えて

全村避難が解除されて村に戻って来てから、おこわを作って道の駅で販売させていただいています。毎年1月からは凍み餅づくりも始めます。自分が作ったものをたくさんの方に食べていただけることはやっぱりうれしいし、やりがいを感じられますね。趣味は手芸でちよとした物を作ることやお花を育てること。特に手芸は、毬(まり)やフクロウ、小さなお花など、今まで本当にいろいろな物を作ってきました。どこで売る訳でもありませんが、凍み餅の時期が終わったら作り始めています。

新しい年にやってみたいことは

おこわや凍み餅を作り続けて、たくさんの人に食べてもらいたいですね。

2021年は金婚式を迎えました。年越しは、息子夫婦が金婚式のお祝いをしてくれるということで、温泉へ連れて行ってもらうんです。あつという間に50年が経ったんだなあ、と驚きです。せっかくの機会なので、ゆっくり楽しんでいます。

未来の村に期待することは

みんなで力を合わせて立派な村にしていけたらいいな、と思います。村長も新しくなって1年、村民みんなが協力し合いながら村づくりを進めていけたらいいですね。個人のことはなっていますが、親も、私達夫婦も金婚式を迎えることができたので、ぜひ息子夫婦にも金婚式を迎えてほしいな、と思っています。



寅年

昭和49年
生まれ

大井 利裕さん
(草野)

ありきたりじゃない楽しい村に

震災前はラーメン店の店主でした。商工会の青年部で相双連絡協議会の会長にもなっていて、様々な形で村内のイベントにも関わっていました。震災の影響で店の建物が使えなくなり、避難も始まって、すぐに商売どころではなくなりました。知人に声を掛けられ振興公社で牛の仕事をしたり、見守り隊で夜間のパトロールを担ったりしました。落ち込んでいる間もないという感じでしたね。令和3年の4月からは正式に振興公社の職員となりました。妻も村内の事業所で働いています。

新しい年にやってみたいことは

令和3年に村が立ち上げた「わくわく推進協議会」で委員長を務めることになりました。空白の10年がありマイナスからのスタートですが、自分達も村も盛り上がるようなことができるよう、手探りでも失敗を恐れず進めていきたい。40年間村で暮らし、祭りにイベントに携わってきた者として、これからも村に関わっていきたいと思っています。

未来の村に期待することは

関わり努力し続けていくしかないですね。よかった悪かったを判断するのは俺達じゃなくて未来の人。震災前の村に戻る事が難しいからこそ、ありきたりじゃない、型から少しはみ出すような村にできればいいんじゃないかな。若い人がやりたいことをやれる、皆とわいわい楽しめるような村に。この10年、皆一生懸命にやってきたのですから。



寅年

昭和13年
生まれ

赤石澤 備(すなお)さん
(上飯樋)

にぎやかに暮らせる村になれ

村に戻って、野菜と花をつくって、道の駅に出しています。この家には思い出があり過ぎて、壊すことができなかった。800石の木を切って建てた家なんですよ。そして、こうして農作業を継続できているのは、夫婦2人、元気であるから。子ども5人を育てるために働いて鍛えられたその甲斐がありましたね。「若い頃の苦労は買ってでもしろ」とおばあさんに言われていましたが本当でした。2人だから仕事をしていられる。つい先日も冬野菜をハウスに入れて、真冬の到来に備えたところです。

新しい年にやってみたいことは

震災の年から裏山にヤマツツジ500本、レンギョウ500本、赤い花が咲くウツギを300本位植えてきました。これを花見山のように育てていきたいと思っています。改築した善應寺から譲り受けた畳も敷いてあるんですよ。平らな所にはロウバイ、トキワマンサク、サルスベリも。三峯山の参道に植えたイチヨウはいずれ立派な並木に育ってくれるでしょう。

未来の村に期待することは

若い人が暮らしやすい環境整備をしてほしい。商店や娯楽の施設など、採算が取れない部分は国などに補填をしてもらってでも私は思っています。便利な暮らしがあって工場も2つ3つできて農業も大規模化して、ここをふるさとにする人が増えていくことを願っています。家族そろってわいわいがやがや暮らせる村になってほしいですね。



トラボーズミがお

寅年

昭和37年
生まれ

小林 洋子さん
(小宮)

今後は自分の時間も大切に

本当にあつという間に還暦になってしまいます。避難先の飯野町の土地が気に入り、生活の拠点としています。村内勤務のため小宮で暮らす夫と、実家、そして飯野の自宅の3軒をまわりながら家族の世話をしています。現在は飯野町の自宅にある小さな畑で野菜を作っています。うまいかない時もありますが、収穫できた時の喜びが小さな幸せです。最近は韓国ドラマにすっかりハマってしまい、韓国語にチャレンジしてみようかな、と思っています。

新しい年にやってみたいことは

とにかくコロナが終息して、みんなが安心して暮らせることを願うばかりです。JRの「大人の休日倶楽部」を活用して趣味の旅行にたくさん行きたいと思っています。星野リゾートや韓国、家族で訪れた伊豆にももう1度行きたいんです。他にも、家の周りや庭に、花や木を植えて楽しみたいです。

未来の村に期待することは

コロナが終息したら村でもいろんなイベントが開催されて、人の交流や集客、いろいろな活動が活発になってくると思います。近年、道の駅周辺にもいろいろな施設ができたので、村外からも多くの人に来て、村がにぎわってくれるとうれしいです。そして、そんな村の姿を見ることが楽しみです。